

よみきかせボランティアのための



# おすすめえほん

42号  
2022  
秋

小学1・2年に  
おすすめ

『ママ、ママ、おなかがいたいよ』  
レミー・シャーリップ//作・絵 バートン・サブリー//作  
つばいいくみ//訳 福音館書店(約4分)

創作

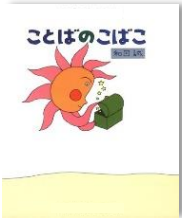


おなかが真ん丸に膨らんだ男の子をみて、お母さんは急いで医者を呼びます。するとすぐに入院することに。そのおなかからは、青リンゴに3つにボールが1つ、山盛りスパゲティお皿付き、お母さんの靴、最後に自転車までが次々に出てきます。影絵のようなシルエットの絵と、セリフで進むナンセンスなストーリーがお芝居のような雰囲気のある絵本です。



読み聞かせプログラムに取り入れたい  
詩の本・うたの絵本

『ことばのこぼこ』  
和田誠//さく・え 瑞雲舎



2文字しりとりや回文、あいいうえお作文、かぞえ唄など多種多様な言葉遊びが詰まった絵本。読み手が好きなものを選んで、ぜひ読み聞かせにも。

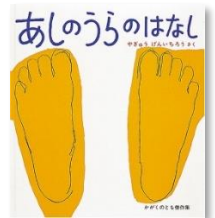
『あしのうらのはなし』

やぎゅうげんいちろう//さく 福音館書店(約5分)

知識

小学3・4年に  
おすすめ

普段、意識することが少ない体の一部「足の裏」についての科学絵本。足の裏で感じることやできることをあげ、タイヤや靴の裏、ゴリラの足の裏と比較していきます。木の上で暮らしていた人間の祖先の足の裏が手のひらと似ていたこと、走るときの足の裏の使い方等、読者が自分の体で新たな発見ができる絵本です。手書きの文字は、聞き手によって読み聞かせする部分を事前に決めておきましょう。

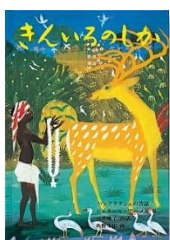


小学5・6年に  
おすすめ

『きんいろのしか バングラデシュの昔話』

ジャラルール・アーメド//案 石井桃子//再話 秋野不矩//画 福音館書店(約12分)

昔話



何よりも金の好きな王様は、ある日狩りに出かけると金色の美しいシカを見つけ捕まえようとします。逃げる途中のシカと出会った少年ホセンは、シカの行方を追手に話さないと約束します。しかし、ホセンは王様からシカを捕まえてくるよう命令され、金色のシカを探す旅に出かけることに。日本画家による色鮮やかながら落ち着いた絵がドラマティックなストーリーを引き立てています。過度な趣向を凝らさず、じっくりと読みたい昔話絵本。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

「子ども室」カウンターでも、質問などをお伺いしています。



[発行]

福井県立図書館子ども読書推進室  
(2022.11 発行)

〒918-8113 福井市下馬町51-11  
TEL. 0776-33-8860